

10 家庭

科目名	生活と福祉	単位数	3単位	学年	第2学年	科	総合生活科
						コース	健康科学
使用教科書	実教出版「生活と福祉」			副教材		準拠「生活と福祉 学習ノート」	

学習の到達目標

1. 高齢期に至るまでの健康づくりについて考えさせると共に、ライフステージごとの健康管理について、具体的な事例を通して理解する。2. 高齢者福祉に関する法規や制度・サービスについて理解させ介護予防の考え方にもとづき、自立生活支援と介護に関する基礎的な知識と技術を身につける。3. 地域の高齢者の生活に関心を持ち、高齢者と積極的に関わり、適切な生活支援や介護ができたり、福祉の充実、向上を目指したりすることのできる能力と実践的な態度を身につける。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	「生活と福祉」を学ぶにあたって 1章 人の一生と生活・健康 ・健康の概念 ・ライフステージと健康管理	※授業のねらい、進め方、留意点を理解する。 1章では、健康の概念と健康状態に影響を及ぼす要因について扱い、ライフステージごとの健康問題の特徴を踏まえ、生活習慣病の予防など高齢期に至るまでの健康管理の必要性について理解する。
	5	2章 高齢化の現状と高齢者の特徴 ・高齢化の現状 ・高齢者の心身の特徴と病気	2章では、①我が国の高齢化の特徴や現状と課題について把握する。②高齢者の心身の特徴と病気、生活課題と施策について理解し、考察する。
	6	・高齢者の生活課題と施策	
	7		
二 学 期	9	3章 高齢者の自立生活支援 ・自立生活支援の基本となる考え方 ・高齢者介護	3章では、個人の尊厳とは何かを理解した上で介護のあり方を考察する。 ①自立生活支援の基本となる考え方（ノーマライゼーション・意義・地域の役割など）を理解する。 ②介護が長期化した時の家族への支援、福祉サービスなどを学ぶ。 ③高齢者に多く見られる疾患（麻痺・視覚障害・認知症等）の支援について理解する。  4章では、高齢社会に対応した社会保障や社会福祉制度、地域包括ケアシステム等、高齢者支援のさまざまな制度について理解し、その課題についても考察する。
	10	4章 高齢者支援の法律と制度 ・社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ ・介護保険制度 ・高齢者支援と地域包括ケアシステム	
	11		
	12		
三 学 期	1	5章 介護・看護の実習と生活支援 ・介護の実習 ・看護の実習 ・生活支援	5章では、高齢者にみられる心身の変化に対応した体位変換、車いす移乗、衣服の着脱、足浴、食事の介助、排泄の介助等を体験し、また、基本的看護の心構え、応急手当、生活支援の基礎的技術を理解する。
	2		
	3		

学習評価

1. 定期試験・小テスト・課題（ノート等）の提出状況・授業態度などを総合的に評価する